

## 第24回 向日市上下水道事業懇談会 議事録

日時 : 平成26年2月6日(木) 午前10時から午後0時10分まで  
場所 : 向日市役所 大会議室(3階)  
出席者 :  
 (委員) 吉川会長他8名  
 (事務局) 市長他14名  
傍聴 : 1名

### 1 市長あいさつ

### 2 委嘱状交付

(市長から各委員へ委嘱状の交付)

### 3 会長及び副会長の選出

(会長に吉川委員、副会長に村山委員を選出)

### 4 議事

#### 【平成24年度水道会計決算報告】

委員 鉛給水管はどれくらい残っているのか。  
事務局 6,000件弱残っており、年間約250件の取替工事をしています。

委員 上植野浄水場の配水塔の修繕箇所はどこか。  
事務局 耐震診断では、阪神・淡路大震災クラスの地震に対して、耐震性を有するという結果が出ましたが、配水塔上部の竹をモチーフにしたコンクリートの支え部分が弱いと診断されましたので、今年度補修工事をしました。なお、物集女西浄水場は来年度から耐震化事業を行う計画です。

委員 不納欠損額の状況はどうか。  
事務局 不納欠損額は、平成23年度907万円、平成24年度831万円と、年々減ってきています。不納欠損を減らすため、まずは現年度分に力を入れ、滞納に繰り越さないように努めています。

委員 滞納するには原因がある。チームを作って取り組んでほしい。  
事務局 年2回収納強化月間を実施しています。また納付相談では、滞納されている方の事情を聞き、無理のないように料金を支払っていただいています。

委員 工事負担金の主なものは何か。

事務局 昨年は、土地区画整理事業により水道管の布設工事をするため、阪急向日市洛西口駅東地区土地区画整理組合から工事費を負担していただきました。

委員 積算基準や要綱等はあるのか。  
事務局 あります。また、京都府や国に準じて積算しています。

委員 給水収益が減っている原因は何か。  
事務局 昨年に比べ、収益が約1%減っています。人口の減少、節水機器の普及が大きな原因です。

委員 収益は大事である。収益が減り、管路の更新等の固定費が増えれば、市民に負担を求めることになる。

事務局 水道事業の収益は、給水収益が大半です。更新事業や耐震化事業を進めるうえで、給水収益が減ると経営は非常に厳しくなります。

#### 【平成24年度下水道会計決算報告】

委員 一時借入金は、どこから、いくらくらい借入れているのか。  
事務局 3月末に地方債の元金と利子の償還があり、一時的に資金が不足することがあるため、市中銀行等から億単位で借入れをしています。利率は1%未満で、短期借入れです。

委員 台風18号の際、浸水を防ぐための土はどこから借りたのか。  
事務局 キリンビール跡地のイオン建設現場です。2,000袋の土嚢を作りました。

委員 イオンの上下水道料金は京都市に入るのか。  
事務局 京都銀行は向日市、イオンは市域で分かれますが、メイン部分は向日市です。

委員 意見ですが、汚水と雨水の事業費率が2対1で、雨水事業に力を入れている市である。これは、まちづくりをしていく上での治水が、他市に比べて河川でカバーできない特異な地形であるからだと思う。今、厳しい経営状況かもしれないが、これを乗り切れば安定経営に向かう。

事務局 北幹線の完成により、台風18号では一定の効果を発揮しましたが、南幹線が必要です。非常に多くの費用が必要となりますが、南幹線を完成することが、市民の安心・安全なまちづくりにつながるものと思います。

#### 【水道施設の耐震化とアセットマネジメント】

委員 耐震診断で想定されている震度はどれくらいか。  
事務局 向日市地域防災計画の上位計画である京都府地域防災計画に基づき想定さ

れる最大震度6強を用い、樫原断層や花折断層を想定し診断しました。

委員 東南海地震は30年以内に80%起こると言われており、管路の耐震化が30年かかるのであれば、その間の対策はどうか。

事務局 南海トラフがどの程度、施設へ影響があるのか、今後検討し、耐震化を進めていきたい。

委員 水道施設の更新に多額の事業費がかかることから、経営が厳しい状況になることがわかる。限りある予算の中で、公共工事に多くの費用を使うのは無理である。

委員 30年以内に地震が起こる可能性があるなら、前倒しで工事をすることも必要である。

事務局 改良工事により、延命化できる施設は延命したく考えおり、更新した水道管は、耐用年数が100年に延びるものと考えています。経営状況を考慮し、これから対策等を検討していきます。

委員 費用がなくても災害は起こるので、ソフト面、避難方法など、準備的なものによって、被害を最小限する仕組みをつくらないといけない。例えば、水道施設が壊れた時の水の確保をどうするのか、行政だけでなく市民も一緒に考えていくことが必要である。

事務局 ハード面とソフト面、両方とも大事です。向日市は2元水源を確保していますが、災害等で両方使えなくなることもあり、近隣市町や府県との応援体制も確保しています。

#### 【府営水道ビジョンの概要】

委員 日吉ダムの建設費は何年で回収できるのか。

事務局 資料がないのでわかりませんが、日吉ダムや乙訓浄水場など、乙訓系の施設が一番新しいため、資本部分の基本料金が高くなっています。しかし、減価償却が進んでいくため、今後は基本料金が下がる見込みです。また、宇治系の施設が一番古いため、更新費用が増大することから、基本料金の格差は縮小すると京都府から報告されています。本市は一刻も早く平準化していただきたいと要望しています。

#### 【向日市の浸水対策の進捗状況】

委員 呑龍トンネル北幹線第1号管渠は水をポンプアップして排水するとき、乙訓ポンプ場から排水されるのか。

事務局 北幹線第1号管渠は寺戸川に排水されます。

- 委員  
事務局 溜めておいて洪水が終わってから排水するのか。  
川の水位が下がったら排水します。
- 委員  
事務局 南幹線も溜めておいて下がってから排水するのか。  
南幹線が完成すると北幹線と南幹線がつながります。従来どおり、乙訓ポンプ場で排水できますが、南幹線完成後は、洛西浄化センターから桂川へ放流します。
- 委員  
事務局 桂川の状態によるが、桂川に直接、排水が可能か。  
京都府で大きなポンプ場を作られる予定です。また、桂川はこれから5年かけて国により床下げをされますので、南幹線が完成すると直接放流ができ、これまで以上の効果があると期待しています。
- 委員  
事務局 北幹線が一杯で水がついたのか。  
上流の京都市域からの寺戸川への流入量が非常に多く、向日市域の水が寺戸川に吐けませんでした。寺戸川の水は呑龍トンネルに流入していましたが、流量が多く呑龍トンネルも一杯になりました。
- 委員  
事務局 南幹線が完成すれば、浸水はなくなるのか。  
北幹線で溜まっていた水は南幹線を通り、桂川に流すので、今以上に効果があります。
- 委員  
事務局 今は、乙訓ポンプ場に流していますね。  
乙訓ポンプ場は西羽東師川に流しています。しかし、暫定供用のため排水量が規制されています。南幹線は1秒当たり10トン放流できますので、安全度が向上します。
- 委員  
事務局 南幹線の完成は平成35年か。  
京都府がそのように予定しています。
- 委員  
事務局 部分的な開通の予定はあるのか。  
検討されているようですが、詳細は聞いておりません。